二松剣

二松剣OB編集局

第24号

56回　剣道部18回生
畠山 宏良



全国各地における度重なります自然災害に、心よりお見舞い申し上げます。

先輩の皆様方、そして二松学舎大学剣道部にご縁のある皆様方、秋田県在住の18回生　畠山と申します。

2018年に船曳君が剣道部の機関誌『二松剣』を復刊してくれてから、すでに8年近くが経とうとしており、今日まで長きにわたる「二松剣」発行への努力に対しまして深く敬意を表します。「二松剣」復刊を決意した理由（2020．10．20松苓会報No.64に掲載）は別として、今日までの発行に際し、彼のもつ思いや考え方にふれつつ、発行されます「二松剣」を読むたびに、これからも活動を応援していきたいという思いは強くなりました。ただ、この8年の間、寄稿の依頼だけは回避し続けておりましたが、もはや彼の熱意に抗しきれず今回原稿をしたためております。

さて、今日まで諸先輩はじめ皆様方の寄稿を拝読させていただくたびに、懐かしい思い出、新たな発見、ときには思い出したくないことや墓場まで持って行きたい記憶も含め、多くの感慨に浸ることができております。自身は、大学を卒業し早37年が過ぎました。大学入学時は、入学後も剣道を続けたいという気持ちと大学生活を謳歌したいという気持ちの狭間で葛藤がありました。しかし、入学式を終え九段の校舎に行った際、月岡先輩による優しい勧誘や、躰道部の先輩によるあまりにもご無体な勧誘からの危険回避のためもあり、剣道部入部はあっけなく決定してしまいました。それから4年間は、同期入部の7人とともに剣道部にどっぷりとつかった濃い学生生活（特に男子は大学生活での学業邁進とは名ばかりの）を送らせていただきました。

沼南や九段校舎での練習、合宿、コンパや納会、学舎祭や運動会など実に苦しかった1年・2年生の頃の記憶が走馬灯のようによみがえります。しかし、3年生、4年生になれば「絶対楽になる」との短絡的で確信的な思考がありましたが、その思いも進級とともにあっけなく崩れ去りました。同期の大森（高島）さんは剣道部を「さまざまなことを自分たちで考え部を運営し稽古する『自治組織』」と二松剣に書いていましたが、学年が進むにつれ「できて当たり前のプレッシャー」を感じ「今まで運営してこられた先輩方の偉大さ」を知りました。なかなかうまくいかない運営の日々でしたが、同輩たちとともに頑張ったという思いは尽きません。今更ながら信頼できる仲間（簡単に裏切られることもありましたが…）との協調・共働は学生時代に培った大切な財産です。







大学卒業後は、文学部卒の体育会剣道部であったことが幸運であったのかそれとも災いしてか、なぜか非常勤職員として「教護院」に10か月程勤務しました。その後中学校教員として採用され、新採用から剣道部の監督を務めることができました。また、最初の勤務が「教護院」だったことが幸運であったのか災いしてなのか、採用から退職まで勤務する学校はいつもいろいろな面で難しい学校ばかりでした。

退職までの年月、ほぼ剣道部を担当することができ、部活動を大きな柱として生徒とともに歩む生活を送ることができました。ただ、剣道部を頑張ったことが幸運であったのかそれとも災いしてか、長きにわたる県中体連の専門部委員長、秋田国体に向けた中学生強化、平成27年に秋田市で開催された全中の事務局長、退職前の部会長など中学校剣道にどっぷりつかった多くの仕事させていただきました。ただ、仕事を通じて非常に多くの方々と知り合う機会を得ましたことは望外の幸運でした。しかし、剣道のお仕事は頑張りましたが、それ以外、特に剣道の自己研鑽は怠りました。反省しています。

現在は、地域の中学校や剣友会で細々と稽古を続けながらゆっくりと生活しております。この9月には先輩諸氏のご尽力により、剣道部OB会発足の方向性を検討する会が開催されることになりました。今後も多くの方々と交流したり旧交を温めたりする機会ができればいいと思っておりますので、会には参加したいと思っております。

結びに、今後も「二松剣」が剣道部の歴史と絆を支え、新たな未来を創造していく大切な架け橋として存続されることを心よりお祈り申し上げ、寄稿とさせていただきます。

※二松剣11号　神崎先輩がおしゃっていたカセットテープ　探したらありました。





全国からの写メール





↑　斉藤先輩と渡辺先輩（左　高知）
←↓　太田（愛知）　雅楽に取組んでいます



↑　大渕先輩（右）と斉藤先輩





←　斉藤先輩と大森（旧　高島）先輩（石川）、日向先輩

2026年度前期の二松学舎大学剣道部

吉丸　雄哉　教授



２０２５年度秋から剣道部の監督をつとめている文学部教員の吉丸雄哉です。春シーズンの剣道大会での監督は今年度が初めてとなります。春シーズンの剣道大会の戦績をお知らせします。５月６日に京王アリーナＴＯＫＹＯで第７２回関東学生選手権大会と第５８回関東学生女子剣道選手権大会１日目が開催されました。男子は３年鈴木健太、２年長島弘知・仁木良彦・山城一颯が出場しました。結果は全員が初戦敗退でした。女子は４年松坂葵、３年田中葵が出場しました。こちらも結果は全員が初戦敗退でした。関東の大学剣士は強いところが多く、負けはしたものの良い経験になったと思います。また、新体制になって最初の大きな大会でしたが、主務の高木使史・渡邊哲大、マネージャーの平林秀乃香のおかげでなんとか無事に終えられました。

次の大きな大会は第３２回東京都学生剣道選手権大会と第３２回東京都女子学生剣道選手権大会でした。男子は３年常世田敦行と２年長島弘知がともに１回戦敗退。女子はすべて１年が出場し、藤山夏音が１回戦、吉田葵が２回戦、竹村梨央が３回戦で敗退しました。実はこの日は北区青少年剣道大会の係員を先に引き受けてしまっていたので帯同できませんでした。２回戦進出の吉田、３回戦進出の竹村はもちろん他の選手も健闘した試合内容だったそうです。ちなみに係員は三十年ぶりぐらいだったのですが、やってみるといろいろと気がつくことが多くてよい経験でした。

部員は現在３３名です。１年生が９人入部したほか、２年生から入部した部員もいます。人数が多いと活気があります。

また、春学期は長谷川日出世先生が３回稽古にお見えになりました。私では技術指導が十分でないので、長谷川先生に教えていただいて学生も喜んでいました。６月２０日には私の大学の後輩の剣士２人（六段と五段）を稽古に参加させてもらいました。剣道は生涯スポーツで、一生楽しめるものですが、今の現役学生も長く続けてくれればと思います。

７月２９日に新歓コンパを行いました。前期の試験期間も終わっているので、前期打ち上げに近い感じでしたが、部員の間で親密度があがってよかったです。

後期は９月の優勝大会、１１月の男子の新人戦大会、１２月の女子の新人戦大会を目標に頑張っていければと思います。





現役三年　国際政治経済学部国際政治経済学科
常世田　敦行（とこよだ　あつゆき）

日頃より二松学舎大学剣道部に温かいご支援とご指導を賜り、部員一同心より御礼申し上げます。国際政治経済学部国際政治経済学科 三年の常世田敦行と申します。

四月から新入部員が入り、新体制となってから早くも月日が経ちました。部運営の第一線に立たれていた先輩方の背中を思い返すと、組織をまとめるご苦労の大きさに深い尊敬の念を抱くと同時に、私たちがこうして何不自由なく剣道に打ち込める環境があるのは、歴代の先生方や先輩方が長年にわたり築き上げてくださった歴史とお力添えの賜物であると、改めて感謝の念を深くしております。

現在、剣道部は吉丸雄哉監督のご指導のもと、日々稽古に励んでおります。吉丸先生から直接いただくご指導によって個々の課題が明確になり、学年の垣根を越えてアドバイスを送り合うなど、真摯に剣道と向き合う雰囲気が部全体に定着してまいりました。また、最近では東京都学生剣道連盟主催の大会をはじめ、外部の各種大会に積極的に参加するようになっております。実戦の機会が増えたことで、他大学の選手から刺激を受けるとともに、自分たちの技術的・精神的な課題を具体的に認識できるようになりました。試合に向けた緊張感や勝敗の悔しさを部員全員で共有することで、稽古に対する熱量が高まっており、学年を問わず互いに声を掛け合い励まし合うチームワークの深まりも身をもって実感しております。

私自身、三年生という折り返しの時期を迎え、単に自分の稽古に集中するだけでなく、部全体を見渡す視野の広さが必要であると感じております。今後は部の運営にかかわる立場として、主将をはじめとした部幹部をしっかりとサポートしつつ、後輩たちにとっても頼れる存在となれるよう自覚を持って行動してまいりたいと考えております。部員それぞれが持つ多様な個性を強みとして活かし、この活気ある流れをさらに加速させられるよう、良き推進力となって部を盛り上げていく所存です。

まだまだ至らぬ点ばかりの未熟な身ではございますが、剣道人としての礼儀や所作を重んじ、二松学舎大学体育会連合剣道部のさらなる発展と飛躍を目指して、部員一同一丸となって一日一日の稽古に精進してまいりますので先生、先輩方におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻ならびにご温情を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

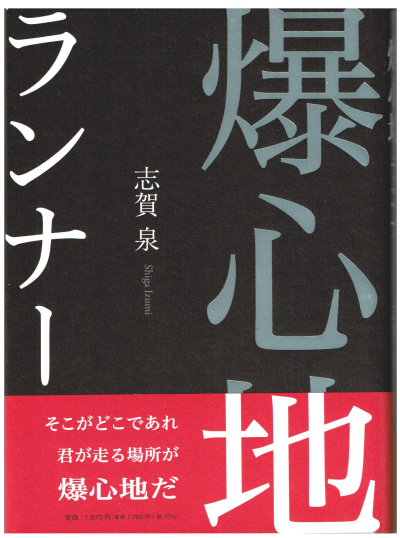


《ご案内》　二松学舎大学剣道部OB会開催

・日時　2026年9月26日（土）　15時～
・場所　二松学舎大学（本館）13階　ラウンジ
・会費　5,000円
・〆切　8月末日

※当日9時15分から部員と稽古。
11時小平駅集合で「瀧先生のお墓参り」も計画しています。

NHP（二松剣ヘルスケアラン）心と体の栄養源



剣道日本



和風スポーツバー
殘心 ZANSHIN
TEL.03-6907-0310
東京都豊島区南池袋2-26-10
アクティオーレ南池袋 3階
営業時間 17:00～24:00
金・土（祝前日）～ AM4:00
昼稽古（ランチ）11:30～14:00
FAX. 03-6907-1902
http://www.zanshin.tokyo
info@zanshin.tokyo